

城見地区の絆作りを目的に組織化しました

多くの方々の活動参加による城見地区の絆作りを目的に自治活動に参加している全活動団体が
できる形態を組織化しました。

まちづくり協議会

会長：加藤晃祐

犯罪・交通災害・火災・
自然災害ゼロのまちづくりふれあいを通じ団結力、
助け合いの心を醸成する

安全・安心部会

部会長：松浦朝陽

ふれあい部会

部会長：坂本 健

防犯・交通連絡会

副部会長：太田由美子

防災連絡会

副部会長：坂本正樹

史跡めぐり連絡会

副部会長：坂本富則

大見山整備連絡会

副部会長：藤井保之

- ・ PTA
- ・ 保育所
- ・ 交通安全協会
- ・ 老人会

- ・ 消防団
- ・ 婦人防災
- ・ 自主防災
- ・ 工業会

- ・ 子ども会
- ・ 公民館
- ・ 社協
- ・ 愛育・栄養

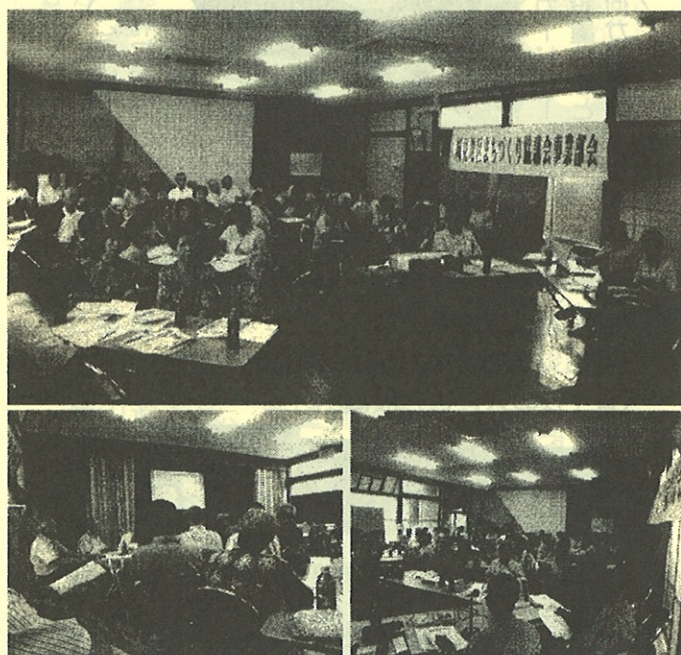
- ・ 自治会
- ・ 行政
- ・ スポ少
- ・ 婦人会

講話「民間信仰の神たち」

ふれあい部会活動の開始にあたり用之江鶴亀会
(会長：細川嗣彦様) の力添えをいただき「民間
信仰の神たち」と題して安藤清孝先生のご講演
をいただきました。

城見地区に^{まつ}祀られている多くの神仏についてそ
の歴史的由来や目的をわかりやすく解説してい
ただきました。

聴講参加人員は約70人にのぼり、いかに郷土史
に多くの皆さんが興味を持っておられるか、ま
た郷土を誇りに思っているかが伺えました。



城見地区の多くの方々に活動に参加頂き、「明るく活力のあるまちづくり」の
意識が徐々に浸透しています。一層のご理解とご協力をお願いいたします。

＊ 安全・安心部会の活動 ＊

活動のねらい

1. 地区住民の活動参加率の向上を図り、

ゼロ災害を目指す

参加率

1年目：20%

2年目：40%

3年目：80%

ゼロ災害活動

犯罪ゼロ

火災ゼロ

交通災害ゼロ

自然災害ゼロ

2. 守りの活動(受身は身につかない)から、

攻めの活動(ゼロ災のための技を磨く)

犯罪：勇気をだして大声で！

火災：出火させない！

交通災害：ルールを体に覚えさせる

自然災害：身近な対策から始める

1年目の活動内容

1年目の平成24年度は「活動の基盤づくり期」と位置づけて以下の活動を行っています。

●ハード面：啓蒙看板を主体にゼロ災に必要な機器・備品の整備を行い、活動の「見える」化を図る。

●ソフト面：活動内容の宣伝と、活動し易い組織づくりを図る。

しんちよく

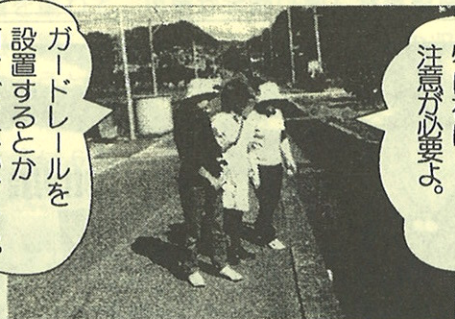
進捗状況は？ これまでの活動内容

防犯・交通連絡会 副部会長：太田由美子

① 交通安全協会グループ、PTA・保育所グループ、老人会グループを編成してパトロール開始

パトロール用の腕章とのぼり旗を持つての活動
10月は各自治会内を各グループが独自にパトロール

ガードレールを
設置するとか
何かできないかしら。



ここは危ないわね。
特に夜は
注意が必要よ。

②啓蒙看板の設置

「ゼロ災活動中」の看板を各地区5枚
(畳1枚の大きさ)設置



城見台入口に設置された
看板とのぼり旗

今回は城見台の例

※ 通行の視野が悪いところの改善指摘があり。

城見台入口の池の周辺

→10月14日自治会大掃除にて樹木の伐採で対応済。

※ 停止標識のある場所での一旦停止が守られていない。

城見台出口の標識位置では守られていない。

→啓蒙活動ならびに守りやすいような改善の働きかけ

防災連絡会

副部会長：坂本正樹

1. 防災訓練

11月25日(日) 城見台グラウンドにて以下の
訓練活動を実施予定

①講話

②通報訓練

③消火器使用訓練

④消火栓 or 消防車による放水訓練



2. 防災パトロール

12月から火災ゼロを
目的のパトロールを
実施するよう準備中



♥ ふれあい部会の活動 ♥

活動のねらい

1. 自分達の地域の歴史や文化を知る事で、城見地区のふれあいと交流を図る。
2. 様々な世代の住民と一緒に行動する事で、親睦と交流を深め、互助の機運を高める。

1年目の活動内容

1年目の平成24年度は「ふるさと再発見と健康ウォーク」の活動を行います

- ① 地域の史跡巡りの散策ガイドマップの作成
- ② 大見山への登山ルート（1年目は用之江ルート）の整備と「ふれあいウォーク」の実施

しんちよく 進捗状況は？ これまでの活動内容

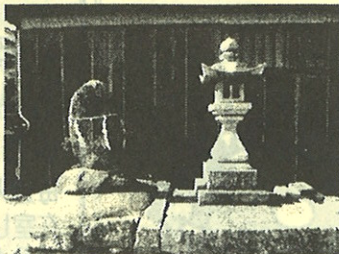
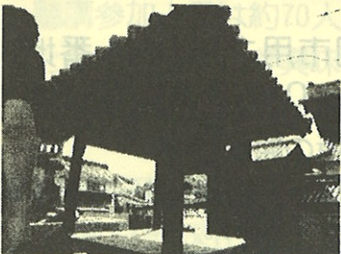
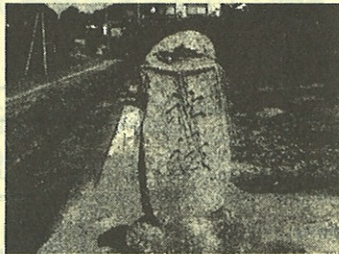
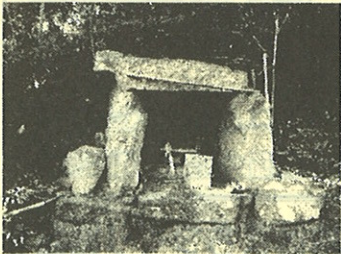
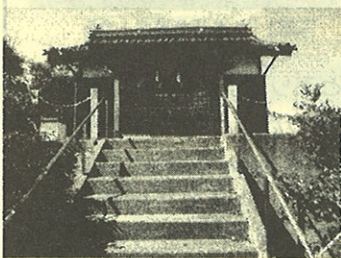
史跡めぐり連絡会 副部会長：坂本富則

1年目の平成24年度は「故郷再発見と健康ウォーク」の活動を行います。

- ① 地域の史跡巡りの散策ガイドマップの作成
- ② 史跡めぐり実施予定日

第1回(大宜地区)：11月24日(土) 約5.5km
第2回(茂平地区)：12月 8日(土) 約6.5km
第3回(用之江, 城見台地区)：1月20日(日)

※ 詳しくは別紙チラシをご覧ください。



おおみやま 大見山整備連絡会 副部会長：藤井保之

① 大見山登山の用之江ルートの整備

- ・ 下見を終えて伐採に必要な項目を洗い出し
12月15日に向けての作業進行中
- ・ 大見山への登山ルートの伐採作業



城見小学校が
よう見えるわあ

干拓地の眺めも
ええのあ

10月20日(土)8時30分大見山登山口集合～12時
約30名の方々の応援で、頂上付近を中心に
展望を確保できました。

11月18日(日)8時30分大見山登山口集合～12時
登山道完成、展望確保を行う予定

大見山登山実施予定

第1回：12月15日(土) 約6km

第2回：1月 6日(日) 約6km

※ 詳しくは別紙チラシをご覧ください。

② 登山案内看板を設置予定



絆づくりに何が必要か…地域の方々の声 老人会の方々のご意見です

茂平地区でのインタビュー

まず挨拶から！お互いにコミュニケーションをとりながら、思いやりと助け合いの心を持つことが必要。

自己中心的な考えをせず、皆で明るく楽しく生活できる地域社会をつくるよう共生、協働の意識をもつことが大切。

大宜地区でのインタビュー

一番取り組んでほしいことは、やっぱり高齢者の交通安全ではないでしょうか。先日も笠岡市の役員会に警察署の課長が来られてお話がありました。「見通しの悪い道路、カーブミラーがない交差点、狭い道に離合できない車の通行、などいっぱいですよ。」と訴えられています。

用之江地区でのインタビュー

自分中心の考えの方が多い。相手の立場で考える事が大切と思う。

人と人が気持ちを分かち合って、互いに意見を聞き物事を進めていく事、皆でコミュニケーションを図り、心を許しあって行動に移すことが絆づくりにつながると思います。

城見台地区でのインタビュー

気軽に皆さんが語らう環境、雰囲気が必要。「まちづくり」に多くの触れ合いの機会を作ってほしい。

「もうひと花咲かせ隊」を結成し活動開始した。地元地区に負けぬように活動したい。向上心と貢献心を持つことが必要。

一人ひとりができることから、地域繁栄に繋げようと心掛けることが大切。

連載

ふるさと城見のあれこれ（其の弐）

この連載は、城見地区の「あれこれ」を紹介します。

前城見公民館長 安藤清孝

城見小学校校庭の西の一隅に「真田講堂」という碑が建っています。昭和51年に解体された「真田講堂」を記念する碑です。「真田講堂」とは、一体どのようないわれがある講堂だったのでしょか。

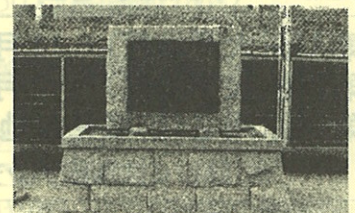
明治の末年、小学校長が講堂の必要性を訴えます。しかし、村には講堂を建築するだけの経費がありません。協議を重ねて、児童が余暇に編んだ麦稈真田（麦わらを紐に編んだもの。夏の帽子にする）の収益金を基金にしようということになりました。多くの人の力の結集はすばらしいもので、10年間で6千反が集まり、積立金は6百円となりました。

さらに10年間、積立金が1千円を超え昭和5年(1930年)8月に棟上げとなりました。真田編みには、概算で延べ5千人以上の協力があつたと考えられます。建築費総額は1,830円と記されています。

講堂に掲げた「真田講堂建築二ツキテ」という文章の末尾には「此ノ講堂固ヨリ輪奐ノ美ニ乏シト雖モ其ノ成レル所以ノモノハ實ニ天下に誇ルニ足ル大殿堂ニシテ真田ノ講堂ト稱スルモ過言ニ非ルナリ」とあります。苦労が多

ただけに、人々の喜びは大きかったと考えられます。「村」ができないのなら自分たちの力で何とかしよう、といった意気込みと実行力。地区民が気持ちをひとつにしての、20年間にわたる営々とした取り組み。何を取り上げて考えても、心を打たれるものがあります。

「真田講堂」碑



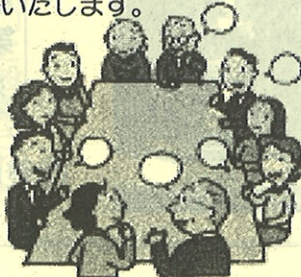
写真は「かさおか散歩」から

～ 事務局からのお知らせ ～

年内のおもな予定

以下の打ち合わせを計画しています。関係者に別途連絡いたします。

- 11月 2日 議会報告会
- 11月 3日 防災連絡会
- 11月16日 役員会
- 12月 7日 ふれあい部会
- 12月21日 安全・安心部会



城見地区まちづくり協議会

笠岡市用之江334番地
TEL 0865-66-5133

事務所の開設時間

毎週火曜日の午前9時から12時まで
在室しております。
お急ぎのご用件等は、まちづくり協議会の郵便受けをご利用ください。